



**6月18日**  
**魚沼市総合防災訓練 (広神東小学校)**



## CONTENTS

◆臨時会・定例会・補正予算・議案賛否の状況	… 2~3
◆賛成・反対討論	4
◆正副議長あいさつ・議会構成	5
◆一般質問	6~12
◆聞かせて！あなたの声「Voice」	13
◆常任・特別委員会報告	14~15
◆政務活動費	16
◆市民の声を聞く会(議会報告)	17
◆市民の声・議会TOPICS・あとがき	18

## 第1回臨時会・第2回定例会報告

令和5年第1回臨時会が5月18日に開催され、市長専決処分の議案を承認するとともに、令和5年度一般会計補正予算（第2号）を可決しました。

また、令和5年第2回定例会が6月16日から7月4日までの19日間の会期で開かれました。初日に令和5年度一般会計補正予算（第3号）を可決し、人権擁護委員候補者の推薦について適任とし、農業委員会委員の任命について同意しました。

6月20、21日には、14人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

7月4日の最終日には、各委員会付託の議案は、いずれも原案のとおり可決され、請願1件が採択され、1件が不採択となりました。また、議員発議の意見書2件を可決しました。

※議案賛否の結果は、2～3ページをご覧ください。

## 第1回臨時会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
令和4年度魚沼市一般会計補正予算（第10号）（専決処分）	346億6,260万円	△11億6,070万円	335億190万円	歳入：大雪関連で道路除雪経費に対する国庫補助金等の追加、地方創生臨時交付金及び低所得者世帯等に対する臨時特別給付金の減額など実績見込みに伴う調整、ふるさと寄附金及びふるさと結基金からの繰入金の減額調整など 歳出：事業費の不用額について減額及び財源内訳の変更、過年度分新型コロナウイルスワクチン接種対策事業に係る国庫負担金及び補助金返還金の不足額追加など
令和4年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（専決処分）	32億4,930万円	1,870万円	32億6,800万円	歳入：医療給付費増加に伴う保険給付費等交付金の追加 歳出：保険給付事業等における実績見込みに伴う追加及び財源の調整
令和5年度魚沼市一般会計補正予算（第1号）（専決処分）	332億6,700万円	1億5,190万円	334億1,890万円	歳入、歳出とも新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施期間の延長に伴うワクチン接種関連経費の追加
令和5年度魚沼市一般会計補正予算（第2号）	334億1,890万円	2億7,120万円	336億9,010万円	歳入、歳出とも物価高騰対策を非課税世帯及び低所得者世帯の子育て世帯に対する給付、高圧電力利用事業者に対する電気料補助金の追加、学校給食費の全額支援に伴う財源調整など

## 第2回定例会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
令和5年度魚沼市一般会計補正予算（第3号）	336億9,010万円	1億4,290万円	338億3,300万円	歳入、歳出とも新型コロナウイルス感染症の傷病見舞金の追加、昨年末の大雪による破損した農業用水路・林道の補修実施にあたり測量調査委託料の追加、生涯学習センター建設に伴う鉄骨等の建設資材の高騰による工事費等の追加など

## 第1回臨時会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付 議 事 件	議決結果
予 算	議案第42号 専決処分の承認を求めることについて（専決第3号 令和4年度魚沼市一般会計補正予算（第10号））	◎
	議案第43号 専決処分の承認を求めることについて（専決第4号 令和4年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号））	◎
	議案第46号 専決処分の承認を求めることについて（専決第7号 令和5年度魚沼市一般会計補正予算（第1号））	◎
	議案第47号 令和5年度魚沼市一般会計補正予算（第2号）	◎

議案番号等	付 議 事 件	議決結果
条 約	議案第44号 専決処分の承認を求めることについて（専決第5号 魚沼市税条例の一部改正について）（市民税及び固定資産税及び軽自動車税の規定の整備に伴う改正）	◎
	議案第45号 専決処分の承認を求めることについて（専決第6号 魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について）（課税限度額及び所得判定基準の見直しに伴う改正）	◎

# 第2回定例会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
予算 議案第48号	令和5年度魚沼市一般会計補正予算(第3号)	◎
条例	議案第49号 魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について (新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行されたことに伴う所要の改正)	◎
	議案第50号 魚沼市火災予防条例の一部改正について (対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令等の改正に伴う所要の改正)	◎
	議案第51号 魚沼市市民会館条例の一部改正について (小出郷福祉センターの用途廃止に伴う所要の改正)	◎
	議案第52号 魚沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について (行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の独自利用等を行うことに伴う条例の制定)	○
その他	議案第54号 財産の取得について(小型動力消防ポンプ付普通積載車3台) (老朽化に伴う更新(第4、5、6分団))	◎
	議案第55号 財産の取得について(ロータリ除雪車) 老朽化に伴う更新(堀之内地域)	◎
	議案第56号 財産の取得について(ロータリ除雪車) 老朽化に伴う更新(小出地域)	◎
	議案第57号 財産の取得について(ロータリ除雪車) 老朽化に伴う更新(湯之谷地域)	◎
	議案第58号 財産の取得について(小出スキー場圧雪車) 老朽化に伴う更新	◎
	議案第59号 財産の取得について(須原スキー場圧雪車) 老朽化に伴う更新	◎
議案第60号	四日町地区雨水管渠布設第4次工事請負契約の変更について	◎

議案番号等	付議事件	議決結果
その他	議案第61号 旧堀之内庁舎改修工事請負契約の締結について	◎
	議案第62号 羽川荘解体撤去工事請負契約の締結について	◎
	議案第63号 市道路線の認定について	◎
	議案第64号 和解及び損害賠償の額を定めることについて	◎
議案第66号	湯之谷基幹集落センター解体(その2)工事請負契約の締結について	◎
人事	議案第65号 人権擁護委員候補者の推薦について (大湯温泉 桜井 忍氏)	◎
	同意第1号 同意第19号 農業委員会委員の任命について ・堀之内 吉田 久氏・伊勢島 桑原 正文氏 ・青島 井口恒一郎氏・中島新田 小幡 中治氏 ・新保 貝瀬 正美氏・穴 沢 佐藤 陽二氏 ・七日市 櫻井 信夫氏・根小屋 上村喜久雄氏 ・大倉 小岩 孝徳氏・下新田 高橋 祐次氏 ・下折立 星仁右エ門氏・下 倉 菲澤 芳子氏 ・原 瀧澤 悟氏・吉 原 星野 幸夫氏 ・長堀新田 佐藤 洋一氏・東野名 穴沢 勝也氏 ・松 川 大塚 寛氏・大塚新田 阿達 正氏 ・大板山 浅井 典裕氏	◎
請願	請願第3号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	◎
	請願第4号 「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願書	×
議案発議	発議第4号 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期並びに見直しを求める意見書の提出について	○
	発議第5号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	◎

# 議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載

○=賛成 ●=反対 △=棄権 欠=欠席 -=除斥 ※=議長は議決に加わりません。

議案番号等	議決結果	合計		しんせいクラブ		日本共産党		みらいの風			緑 晴 会			魚沼大地クラブ		魚沼クラブ		会派所属なし			
		賛成	反対	渡辺一美	富永三千敏	大平恭児	佐藤達雄	大桃俊彦	浅井宏昭	星野みゆき	森島守人	佐藤敏雄	佐藤肇	本田篤	志田貢	星直樹	横山正樹	遠藤徳一	桑原郁夫	高野甲子雄	関矢孝夫
議案第52号	原案可決	14	3	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※
請願第4号	不採択	3	14	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	※
発議第4号	原案可決	9	8	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	※

## 発議第4号 賛成・反対討論

「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期並びに見直しを求める意見書の提出について」

### 提案理由

インボイス制度の導入で影響を受ける魚沼市内の様々な事業者から悲痛の声が多く届けられてる。令和5年10月に実施される予定のインボイス制度は、実質的に免税事業者を廃止するものであり、税の公平の原則・中立の原則に反した不公平な税制度であることから、政府に対して、インボイス制度の延期と見直しを求める意見書を提出するもの。

### 賛成討論

● 市民から提出された「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願書と基本的には同じと考える。

このインボイス制度は、小規模事業者に消費税を無理強いするものであり、地域経済をさらに疲弊させるものである。この観点から、延期並びに見直しを求める意見書を支持

する。インボイスの大きな問題点を広く市民に把握し、知ってもらいたい。そして制度見直しにつなげたいと考える。

インボイスの登録は、多くの問題点があり進んでいない。そういった中で全国の自治体が、中止・延期・見直しの声を上げれば、インボイス制度そのものを見直すことにもつながる。

● 新型コロナウイルス感染症が地域経済に大きな打撃を与え、ウクライナ情勢による穀物やエネルギーの高騰、それに伴う物価や電気料高騰の中、市内の中小企業主や個人事業主は地域経済を立て直そうと頑張っている。なぜ、このような大事な時期に、制度内容がまだ徹底されていないこの制度をスタートしなければならぬのか。このままスタートすれば、今後、さらに日本の経済の混乱を引き起こすことが予測される。

また、課税事業者と免税事業者の今後の関係性はどうか。課税事業者が仕入額税額控除を受けるためインボイスが必要で、免税事業者は取引から外される可能性がある。それを避けるためには登録が必要で、個人事業者や一人親方、シルバー人材セ

ンターなど広範囲の事業者は負担増となる。一方、免税事業者がインボイスを登録しない場合は、その課税事業者は多額の税負担が生じる。インボイス制度の仕組みが皆さんに本当に理解されているのか、周知不十分ではないか。免税事業者を守るための制度にしっかりと見直しをすることが大事だと考える。

市民事業者の不安、悲痛な声を政府に届けたい。

### 反対討論

● この発議行為が昨年なら理解できるが、既に各種団体、企業はこの制度に前向きに対策を講じながら取り組み、施行日を迎える準備が整っていて時期を逸していること。

今定例会での委員会付託における請願4号の協議の中で、委員会ですっかりと請願者に寄り添った取扱いを議論すれば、手法として国に対して意見書を上げる機会があったにも関わらず、それを反対討論までして不採択にしてまでも、この後に、発議行動をとり、ほぼ同一議案を同一定例会で審議する形になったのは一議員としても議会としても受け入れしがたい事態を招いていること。

施行日後の経過観察の期間中に不備等確認段階で機会を設け、市民や関係職種の声を研究しながら発議できることを、この定例会最終日に強引に発議し市民の声の研究の場も与えられない乱暴で強引に採決に持ち込む手法など理解しがたい発議の在り方に対し反対の意を唱える。

● インボイス制度の導入については、国の政策決定に基づき、昨年から周知されてきており、魚沼市内の商工業者の60%以上が加盟している商工会では、令和5年10月からのインボイス制度適用を視野に、未登録業者への説明会・申請・事務作業の支援などが行われ、既に準備が完了している状況と伺っている。

魚沼市は、財政の多くを国の交付金に依存している自治体である。

国はコロナ禍のワクチン接種など経済対策に、年間予算規模に相当する赤字国債を発行して対策にあたっており、財源確保に向けたインボイス制度の導入は必要政策の一つであり、実施まで、既に3カ月をきった現時点での延期や見直しは、ただ混乱を招くだけである。

# 議 会 構 成

令和5年第2回定例会最終日における関矢孝夫議長及び本田篤副議長の辞任に伴い、正副議長の改選と新たに常任委員会、特別委員会委員等が選任されました。

議長就任あいさつ  
森島 守人



第11代魚沼市議会議長を拝命いたしました。誠に光栄であるとともに、責務の重大さを感じ身の引き締まる思いです。

市民から負託を受けた議会の代表として、微力ではございますが、市政の進展と市民の信託に応える議会運営に努力いたす所存でございます。

市民の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ  
志田 貢



このたび、魚沼市議会副議長の重責を拝命いたしました。

皆様の安心、安全な生活とその未来を守るため、「健康が一番」、「心に笑顔も一番」をキャッチフレーズに、議長を補佐し、魚沼市議会が市民の皆様から信頼され、市政を前進させるよう努める所存でありますので、市民の皆様からご指導、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ●特別委員会

### 【総合計画策定調査特別委員会】

委員長	関矢 孝夫
副委員長	浅井 宏昭
委員	桑原 郁夫
	横山 正樹
	佐藤 達雄
	星 直樹
	星野みゆき
	大桃 俊彦
	大平 恭児
	富永三千敏
	佐藤 敏雄
	遠藤 徳一
	渡辺 一美
	佐藤 肇
	高野甲子雄
	本田 篤
	志田 貢

### 【広報広聴特別委員会】

委員長	大桃 俊彦
副委員長	大平 恭児
委員	桑原 郁夫
	横山 正樹
	星 直樹
	富永三千敏

### 【福祉文教委員会】

所管事項：教育委員会、市民福祉部及び福祉事務所の所管並びにこれに関する各種の事項

委員長	星野みゆき
副委員長	横山 正樹
委員	大平 恭児
	関矢 孝夫
	高野甲子雄
	本田 篤

### 【産業建設委員会】

所管事項：産業経済部、ガス水道局及び農業委員会の所管並びにこれに関する各種の事項

委員長	渡辺 一美
副委員長	佐藤 肇
委員	桑原 郁夫
	星 直樹
	浅井 宏昭
	佐藤 敏雄

※ 常任委員会の共通事項として、北部事務所の所管する事項については、各部等の所管に属する事項に準じ各常任委員会において所管するものとする。

議長	森島 守人
副議長	志田 貢
監査委員	佐藤 敏雄

### 【議会運営委員会】

委員長	本田 篤
副委員長	星 直樹
委員	星野みゆき
	大平 恭児
	遠藤 徳一
	渡辺 一美
	佐藤 肇

## ●常任委員会

### 【総務委員会】

所管事項：総務政策部、会計課、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管並びにこれに関する各種の事項、ほかの委員会に属しない事項

委員長	遠藤 徳一
副委員長	富永三千敏
委員	佐藤 達雄
	大桃 俊彦
	志田 貢
	森島 守人



佐藤 肇

# 介護難民を発生させない支援を



昨年、全国で介護事業者の倒産や休業業が過去最多となった。最も影響を受けるのは、利用者とその家族であり、介護難民の発生は何としても防がなければならない。

**問** 特養の待機者はかなり改善されたが、ヘルパーや訪問看護など利用者の希望に添える形となっているか。

**答** 訪問看護・訪問介護においては、介護人材不足等から利用の希望等が調整されているケースも生じている。

**問** 介護報酬は公定価格のため、物価高や人件費高騰を転嫁することができない。国に改善を求めてほしい。

**答** 北信越・県市長会等々と協議しながらしっかりと伝えていきたい。

**問** 看護師など有資格者の慢性的な不足は、事業者が最も苦慮するところである。短期の人材確保といった視点で市ができる支援策を問う。

市内介護事業所に多くの方が就職し、長く勤めてもらうような各種支援策を中心に実施しているが、引き続き、様々な取組を進める。

**問** 養護老人ホーム南山荘は新築建替の予定だが、ほかの施設も老朽化が進んでいる。施設維持、更新のための中長期計画が必要ではないか。

**答** 市内の市有施設や民間事業所の各施設において、建設から相当年数が経過し、今後、建物や設備への改修及び更新に係る経費が増大傾向となることを見込まれる。それらの状況を把握し、中長期的な取組の方向性を明らかにする計画が必要であると考え。その計画策定作業に併せ、民間事業所の施設改修・更新に対して、市としてどのような支援ができるのかなどの検討を進めていく。



星野みゆき

# 地域公共交通の充実に ついて問う



南越後観光バスの魚沼市を走る路線バス3路線の運行休止を受けて

**問** 高額な赤字補填をしてまで、運行を続けていく考えなのか。

**答** バス路線の維持に努めていく一方で、市全体の公共交通体系の見直しも必要であると考え。

**問** 路線バスに代わる交通手段を考えていかななくてはならないが、それには、ニーズを地域ごとに具体的に把握し、市内の公共交通の空白地を明確にし、今後、いつ、どこで、どんな人が、何人くらい、どのようになっているのか、きちんと数字で見えていく必要があると考えるが、どうか。

**答** アンケート調査等も含め、実際に乗ってみることも大事だと考える。



深夜未明の交通手段の確保について

**問** タクシーも営業していない時間帯の交通手段の確保について、必要性をどのように考えるか。

**答** 需要と供給のバランスの観点から、当地域においてはさほど高くないと考えている。

**問** 市内のタクシー会社に何らかの支援をし、順番に深夜営業をしてもらえるような方法はとれないのか。

**答** 2024年から働き方改革関連法によって年間時間外労働時間の上限が限定されるので、市の支援の前に業界としてどういったことができるのか、議員の提案等も関係団体に伝える。

**問** 守門・入広瀬地域の方々にもゆっくり飲んでいただけたらという、週末限定で送迎バスを運行してはどうか。

**答** 娯楽に係るテーマなので市が主体となって運行する考えはない。



佐藤 敏雄

# 住みたくなる魚沼市を 目指して



魚沼市は合併後、約1万人の人口が減少した。平均すると年間550人だが、近年は、600〜650人ずつ減少している。内容は、出生数と死亡者数の差が約300人で残りは、転出数と転入数の差である。この傾向は全国的なもので、このため国は異次元の子ども対策を打ち出しているが、各自自治体の取組方で差が出ており、先進地の千曲市で研修を受けてきた。

**問** 魚沼市の移住・定住策は他市と遜色はないが、市長が「子育て日本一」を標榜している子育て支援策など他市と比較できるような指標を示して魚沼市の優位性を内外に向け発信すべきだ。また、魚沼市出身の大学生や市外に就職した人に定期的なダイレクトメールなどを情報提供するとともに魚沼市に移り住んだ人の体験談など広報誌等で広く発信すべきだ。

**答** 本市は、本年3月にホームページをリニューアルし、移住・定住の優遇策の検討が必要と思う。

対策や移住者の体験談の掲載を実施しているほか、子育てサブサイトを開設し、子育て支援に関する情報発信を強化した。空き家対策は、所有者の意向調査をして空き家バンク登録の周知を行っていく。空き家解体の助成は予算化した。税の優遇措置は今後検討していく。

**問** 魚沼市からプロスポーツ選手の育成強化策について

**問** 先日、静岡県で実施されたゴルフの「ヨネックスレディーズ」にプロ選手100人と一緒にアマチュア代表で広神中学2年生の目黒選手が出演して、新潟県魚沼市出身とテレビ放映され魚沼市を全国に宣伝した。魚沼市の広告塔になってもらいたい。ほかに優れた生徒もおり、将来有望な選手育成に地域をあげて支援していく新たな仕組みを図るべきと考える。

**答** 高校生以下のアマチュア対象で全国大会以上の出場者に「魚沼市ジュニア競技スポーツ支援実施要綱」によって激励金の支給をしている。過去の例としてオリンピックに出場した選手の後援会の例もあり、市としてできる支援を検討していきたい。



横山 正樹

# まちなかのにぎわい創出のため 「地域プロジェクトマネージャー 推進制度」の導入ができないか



**問** 現在、生涯学習センターの建設や旧堀之内庁舎の物産館への模様替え等、ハード事業が進展中である。それに併せてソフト面での施策が必要である。令和3年度総務省が制定した「地域プロジェクトマネージャー推進制度」を導入し、まちなかにぎわい創出プロジェクトを立ち上げてはどうか。

**答** 「地域プロジェクトマネージャー」の任用は、地域おこし協力隊の発展版と理解しているが、3大都市圏から住民票を異動させた者など条件があるため、すぐに活用することは難しい。地域の特色を生かし、新しい施策を打ち出していくにはこのような人材活用を検討する必要があると考える。

**問** 集落支援員の果たす役割と課題について問う

**答** 集落支援員制度を導入して13年目となるが、具体的な成果は何か。

**答** 担い手や世帯数の減少などにより、地域活動が困難になった地区に対しコミュニティ協議会を設立した。活動をサポートする過程で、新たな共助活動を手掛ける地域もみられた。また、コミ協や自治会などと学校現場をつなぐ調整を行い、地域全体で子どもたちや学校に関わる取

組が定着した。

**問** 集落の巡回や状況把握をどのようにして実施しているか。問題点や課題は何か。

**答** 「地域の茶の間」等の活動に顔を出し地域に暮らす人の声を聞いたり、地域の役員会に出席することで集落等の実態把握に努めている。

**問** 集落支援員の仕事内容の明確化とコミ協等の課題解決に一役を担ってもらえないか。

**答** 集落支援員は、地域の「話し合い」を促進し、地域の維持活性化を図ることを目的に活動しており、地域住民が主体となって課題解決に向けた活動を行えるように側面的支援を行っていく。

**問** 集落支援員制度活用での課題は何か。

**答** この制度の活用に関わらず、地域の担い手の高齢化などにより共助活動が困難になりつつある地域がみられることや、地域活動に関われない住民や無関心な方の増加が懸念される。

※このほか、「部活動の地域移行の進捗状況について」を質問しました。



高野甲子雄

## 公契約条例制定で建設業者への賃金保証を



**問** 市では冬の除雪があり、夏場には土砂災害と復旧工事があり、土木、建設業がなくては日常の生活は成り立たない。国土交通省では、令和5年3月から適用の「公共工事設計労務単価」が11年連続での値上げとなった。全国平均では、主要12職種で一番高い型枠工で27,162円、一番安い交通誘導警備員Bで13,814円となっている。公契約条例を制定している愛知県豊橋市の例をとれば契約額の77%を割ってはいけないので一番安い交通誘導警備員で10,636円となる。魚沼市も公契約条例の制定をすべきと考えるがどうか。

**答** 建設労働者は、国において将来にわたる公共工事の品質確保とその中長期的な担い手の育成・確保を基本理念とした法整備を実施し、週休2日への取組、適切な履行期間の設定等を実施し、労働者の確保及び離職防止に努めている。本市におい

ても、このような施策に準じ対応しているため、現在のところ公契約条例の制定は考えていない。

带状疱疹ワクチンの取組について

**問** 高齢化に伴い带状疱疹に苦しむ人が目立っている。市では高齢者へのワクチン接種を義務化できないか。

**答** 予防接種法は、昭和23年に制定され平成6年にそれまでの接種義務から努力義務へと法改正をした。これが現在の予防接種法の基本となっていることから、ワクチン接種の義務化は難しいと考える。带状疱疹は、带状疱疹後神経痛と呼ばれる長期間にわたる合併症を発生する場合もあり、本市もワクチン接種の重要性は認識している。国の動向や先進自治体における取組の情報収集や、魚沼市医師会から意見を伺い、任意接種となるが、費用の助成開始に向け具体的な検討を進めている。



渡辺一美

## がん患者の医療用補整具の購入費助成を



**問** がん患者にとって、治療に伴い外見に現れる身体症状が苦痛をもたらしている。治療を受けながら仕事や家事を行う人も増えている中、外見の変化に悩む方々が少しでも前向きに日常生活・仕事等の社会参加ができるために、医療用補整具（ウィッグ・乳房補整具）の購入費助成制度を実施しないか。

**答** がん治療に伴う外見変化は、精神的な苦痛を伴う機会が多いことや公的な保険適用等の対象外と認識している。がん患者の治療と社会参加等の両立を支援し、がんとの共生社会の実現を図るため研究を進める。带状疱疹ワクチンへの公費助成について

**問** 東京都では、今年度より区市町村長が行う、带状疱疹ワクチンの任意接種に要する経費及び周知等のために要する経費を補助している。魚沼市も接種経費に対する助成を検討することだが、県には東京都と同様の制度の実施を要望し、政府に対しては、予防接種法に基づく定期接種化を求めることを要望するよう提案する。

**答** 現在、接種費用の助成実施に向け具体的な検討を進めている。带状疱疹に対する市民の不安を軽減できるような必要な助成制度の創設等、国や県へ求めていく。

放課後児童クラブ（学童保育）の無償化について

**問** 長岡市では、学童保育を無料にしている。国が進めた幼児教育の無償化により未就学児の保育にかかる費用がほとんどかからなくなり小学校に入学すると学童保育の利用料が負担に感じる保護者の声がある。日本一の子育て支援を目指す市長としてさらなる子育て支援の充実のため、魚沼市も学童保育の無償化を実施してはどうか。

**答** 世帯の状況等に応じた軽減策を行っているため、学童保育利用負担金の無償化は現段階で考えていない。国県の子育て支援策の動向や周辺自治体の状況を確認し、本市のこれからの子育て支援策を検討するなかで研究していく。

**問** 暮らしやすい地域を守るため、官民共同の地域公共交通運行会社を設立すべく検討をスタートしないか。

**答** 人口減少による需要の減少やコロナ禍などの影響から存続は困難を増しているが、地域交通は住民の生活に不可欠であると認識している。官民共同の運行会社の設立は考えていないが、現在、関係者の垣根

**問** 暮らしやすい地域を守るため、官民共同の地域公共交通運行会社を設立すべく検討をスタートしないか。

**答** 暮らしやすい地域を守るため、官民共同の地域公共交通運行会社を設立すべく検討をスタートしないか。

小出一柄尾又・小出一六日町・小出一小千谷線の3路線を休止するとしたバス運行会社が休止届を取下げ休止は回避された。地域交通は、住民の暮らしや地域の社会経済活動に不可欠であり、生活移動、観光客や交流人口の維持、増加を図るために必要な最低限のサービスである。加えて、高齢化の進展に伴い運転免許返納者が近年増加しており、公共交通による移動手段の確保は重要性をさらに増している。

を超えた共創による地域交通の再構築など、効果的な手法については、今後の検討課題とする。

居住誘導について

**問** 居住誘導ができれば、新しい公共交通のシステムをつくり維持するにも効果的となる。暮らし続けられるために、立地適正化計画等に基づく居住誘導をいつスタートするのか。

**答** 小出・堀之内市街地の居住誘導区域に克雪住宅を建設する際の補助金を他地区での建設の補助より多くしている。

**問** コンパクトなまちにすることで効率的な地域交通ができる。幹線道路そばの位置への誘導はしないのか。

**答** 都市機能を整備することで居住誘導が図られるものと考えている。

**問** 空き家は、今後も人口減少や不景気による倒産・相続放棄等で、さらに増えることが見込まれる。国も今年6月に空き家への課税を強化する改正空き家対策特別措置法を参院本会議で可決した。そこで、魚沼市も空き家を未然に防ぐ方法と利活用の点から市長は民間業者と連携し、どのような取組を進めようとしているか。

**答** 平成27年度に新潟県宅地建物取引業協会と魚沼市空き家バンク制度の運用及び相談等に関する協定を結んで、空き家の利活用に取り組んでいる。また、昨年度に魚沼市建築組合と魚沼市における空き家等の対策に関する協定を締結し、空き家の改修等の相談、特定空き家等の調査に協力いただいている。現在、市内には370軒の空き家があり、そのうち利活用が見込まれる160軒の空き家については、所有者に対して空

**問** 空き家は、今後も人口減少や不景気による倒産・相続放棄等で、さらに増えることが見込まれる。国も今年6月に空き家への課税を強化する改正空き家対策特別措置法を参院本会議で可決した。そこで、魚沼市も空き家を未然に防ぐ方法と利活用の点から市長は民間業者と連携し、どのような取組を進めようとしているか。

**答** 平成27年度に新潟県宅地建物取引業協会と魚沼市空き家バンク制度の運用及び相談等に関する協定を結んで、空き家の利活用に取り組んでいる。また、昨年度に魚沼市建築組合と魚沼市における空き家等の対策に関する協定を締結し、空き家の改修等の相談、特定空き家等の調査に協力いただいている。現在、市内には370軒の空き家があり、そのうち利活用が見込まれる160軒の空き家については、所有者に対して空

**問** 物価の高騰で建築資材も上がり、子育て世代が夢のマイホームを諦めている人もいるが、この時期こそ資源である空き家を利活用し、市民に周知することが必要と考えるがどうか。

**答** 今年度、家の終活についてのパンフレットを作成し全戸配布する。そして、現在、住んでいる家の中で相談するきっかけづくりになることを期待する。また、空き家のリフォーム相談など有利な支援を丁寧に説明していく。



富永三千敏

新しい官民共同の地域公共交通会社を創出せよ



桑原 郁夫

空き家対策について問う





佐藤 達雄

### 農業問題を問う



中山間地域では、家族農業、小規模農業の果たす役割は大きいですが、その農業者に対し、市としてしっかりと支援するべきと考える。

**問** 離農の大きな原因の一つとして、農業機械の更新ができないことがあげられている。市の農業用機械等への整備支援要件の一つは、経営面積5ha以上の中心経営体となっている。支援要件を緩和し、経営面積1ha以上とし、集落の中心経営体に限定せず、3人以上の共同購入者等に見直し、支援対象を広くすべきではないか。

**答** 市では今年度より、10haから5haに面積要件を緩和してきたところであり、その効果を検証していきたい。農協では、面積要件3ha以上とした機械の補助制度を持っており、中山間地域等直接支払制度の対象地域に対しては、面積要件はその

半分の制度があるので、農協の制度をどのくらい利用するかということも含めて、今後検証していきたい。

**問** 農業用機械の共同所有は、故障等の責任を当該使用者が問われることになり、敬遠される傾向があると聞く。そのような弊害を減らし、共同使用を促進するためにも、機械修理に対して市及び農協が連携して一定の支援をすべきでないか。

**答** 中山間地域等直接支払制度において、共同機械購入ができるが、その中で機械の修理に対して、交付金が使えるかという点について、今後、国や県に確認していきたい。それ以外の部分の修理に関しては、今のところ手立てがない状況で、機械の共同購入促進は、効率的であり、参加者で何とか調整し進めてもらいたい。



大桃 俊彦

### 南越後観光バス魚沼3路線の運行休止について問う



自治体が補助をする方向で運行休止を取り下げたが、具体的な内容は示されず、協議を継続していくことになる。国は地域公共交通計画と乗合バス等の補助金制度を、令和7年度事業から補助金執行を市町村法定協議会に対して補助するとしている。これを受け以下について問う。

**問** 国の補助金制度を活用して、地域公共交通計画を見直し運用していくべきと考える。

**答** 今年が地域公共交通計画の計画期間の中間年度となることから、再構築にかかる各種支援制度の確認をしながら改善を図っていく。

**問** 地域公共交通計画の見直しにあたり、地域協議会を立ち上げ「市民の足の確保」の地域要望を理解し法定協議会で協議検討をすべきと考える。

**答** すでに地域公共交通協議会があることから、地域での協議会は必要ないと考える。

市民の健康増進について問う

小出郷福祉センター解体に伴い、

利用してきた団体やサークルは困惑を隠せないでいることから以下について問う。

**問** 若トレ教室、健康教室は新設される生涯学習センターへの移転の話から一転し、北部公民館へ変更した理由は何か。

**答** 当分の間、北部公民館に移転するものであるが、今後ほかの市有施設での実施を検討していく。

**問** 体力測定会等への若者の参加率が少ないが率はどうだろうか。これからの若者に対して健康づくりをどのように考えるか。

**答** 若者の参加率は37%程度であり、「歩く」、「階段の昇降」、「スポーツを楽しむ」を日常生活に加えることが大切である。

**問** 福祉センター跡地に誰もが気軽に立ち寄れる「健康センター」を建設してはどうか。

**答** 市内には体育館等が複数あるため建設は考えていない。



星 直樹

### 観光政策を問う



**問** 魚沼市における観光業の現状をどのように捉えているか。

**答** 昨年の宿泊客数は、コロナ禍前の令和元年度実績を上回る調査結果が出ており、今年度は、団体旅行も戻りつつあり観光客については引き続き回復傾向であると考えられる。しかし、観光客の回復以上に昨今のエネルギーや原材料価格の高騰により経営が厳しい事業者もいると認識している。

**問** データを分析すると首都圏1都3県からの宿泊数の回復が遅れているが認識はあるか。対応策は。

**答** 1都3県からの来訪者がコロナ前と比較して落ち込んでいるのは、大きな課題だと認識している。7月18日に都内で行う合同記者会見において、市長のトップセールスにより今秋の誘客に向けてしっかりPRしていく。

**問** 今後、魚沼市においてインバウンドはどのような方向性で考えているのか。

**答** 観光課と観光協会とタッグを組んで、1万人の教育旅行を受け入れている当市のノウハウを生かして台湾の教育旅行にターゲットを絞って進めていく。

冬季スキー産業について

**問** スキー授業受入れにおいて、他市にない取組や魅力発信はできているのか。

**答** 平日の一般利用が少ないことから、授業の管理上の観点から学校側から好評を得ており、貸切対応も可能なスキー場もあるなど、弱みを強みとして誘致活動を行っており、それぞれのスキー場ごとに特色を生かした魅力を発信していると承知している。市としても教育旅行の受入れに対する助成制度を設け支援している。



大平 恭児

### ジェンダー平等の認識を問う



**問** あらゆる場面での意思決定にジェンダー平等の視点は重要だ。審議会や団体、市幹部職員などの女性の登用の現状はどうか。

**答** 市で所管している各種審議会や委員会では、性別にとらわれないことがないよう委員の選任をお願いしている。登用率は、伸び率は低いものの過去5年間で3.7%伸びている。

**問** 同性婚を認める、自治体のパートナーシップ制度創設が徐々に広がっている。魚沼市で制度の検討をしようか。

**答** 制度の導入に関しては、近隣の状況を見た中で判断していく。

新型コロナウイルス5類移行後の対応について

**問** 市として、第6波以降の高齢者施設内療養の実態と感染者の経過について調査を行い、備えるべきではないか。

**答** 改めて調査を行う予定はない

が、施設、保健所と必要に応じ随時連携していく。

**問** 県は、対応可能な範囲で施設内療養の方針だ。入院医療の保障を国と県に求めるべきではないか。

**答** 病気の治療や療養は、症状に応じた対応が行われるものと考えられる。入院が必要な人が入院できる体制は必要であり、今後も国及び県の方針を注視しながら、意見、要望を伝えていく。

住宅耐震化について

**問** 新潟県地震被害想定の結果は魚沼市にも甚大な被害が考えられる。被害を最小限に抑えるために住宅耐震化が求められる。助成制度の拡充を行うべきではないか。

**答** 現在の住宅の耐震補強設計及び耐震改修を対象として、その分だけに補助を拡充する考えはなく、将来を見据え地震被害の軽減に向けた住宅政策を総合的に検討するべきと考えられる。



遠藤 徳一

### 市民の声は政策提案だ



一万人近い署名が寄せられている温水プール建設要望は教育、環境対策、医療、介護等多岐にわたる政策課題解決のための政策提案と思うが、なぜ調査すらないのか。

**問** 多くの市民の調査要望に応じられないのは、合意形成の在り方として不十分ではないか。

**答** 政策形成過程では、市民を交えた委員会の設置、計画策定、事業実施においては、地域説明会を開催するなど市民に理解を求め合意形成を行っている。その他、「市長と語るらん会」や「移動市長室」を開催する中で、市民の声をより多く聴くことを心がけている。市民一人ひとりが抱く想いや考えを全て同じ方向にまとめることは至難の業であり、議会制民主主義をとる我が国では、議会とともに政策を議論し方針を決定することが基本と考える。そのためにも多くの声を聴き、分かりやすい

言葉で説明を行っていくことが重要と考える。

**問** 荒廃する里山整備等木質バイオマスの利活用による熱利用、ごみ処理施設の老朽化に伴う建設事業による熱利用、再生可能エネルギーの利活用、予防医療、人材不足等課題解決のために政策の掛け算ができる要素が温水プール建設にはある。調査の価値があると思うが調査をしないのか。

**答** 持続可能な政策としての調査で、プールについては、建設や運営にも多額の費用を要するものと考えられる。これからの本市は、人口減少・少子化が続き、持続可能な政策として取り組むためには、今よりも少なくなる人口の中で、どうやって施設を維持していくのかということ念頭にのいた調査・検討が必要になると考える。



本田 篤

### HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの男性への接種支援を



HPVなどに起因する子宮頸がんにより毎年約3,000人が亡くなっているが、HPVワクチンは性別問わずがん予防などで効果がある。

しかし、費用がほかのワクチンよりも高く、当市は女性のための接種助成であるため、助成のない男性の接種は進んでいない。

**問** HPVワクチンの男性への接種支援を行うべきと考えるがどうか。

**答** 女性だけでなく男性も接種することで、パートナーへのHPVの感染を防ぐだけでなく、中咽頭がんや陰茎がん、肛門がんなど男性に起こるがんの発症予防にも効果があるとされている。

国内では、4価ワクチンの男性への接種が令和2年12月から承認され厚生労働省では、男性に対するHPVワクチン接種を定期接種として位置づける検討を開始することの議論が行われている。

男性への助成については、今後国の動向をみながら医師会等から意見をもらい検討していく。

市職員の副業について

**問** 社会貢献できる副業について明確な規程を設け、副業を推奨してもよいと考えるがどうか。

**答** 平成16年11月に「魚沼市職員の営利企業等の従事制限に関する規則」を定め副業に関する許可基準を設け運用してきた。平成29年5月に「営利企業等従事に関する基本的な考え方」を作成して職員に通知し、本年4月に内容の一部に修正を加え運用している。内容としては、報酬を得て事業または事務に従事する場合等において許可が必要となる場合、不要の場合等も例示しており、申請しやすい環境は整えてあると考えている。

# Voice

聞かせて！あなたの声

## 地域食堂 × 市議会

地域で活躍する皆さんと、ざっくばらんに語り合うコーナーです。

第14回目は、市内で地域食堂を開催している皆さんからお話を伺いました。



### 地域食堂への思いは

地域のよりどころ、顔が見える関係づくり、地域が元気になることです。令和4年2月10日号の市報で地域食堂を手伝ってくれる人を募集したら、4～5人と思っていたのが、40人もの応募があり驚きました。料理なら手伝えると気軽に来てくれたのではないかと思います。

### 活動状況は

私たちは、小出地域「伊米ヶ崎みんなの食堂」、「円福寺みんなの食堂さなし」、「浦町公民館まんぶくキッチン」守門地域「元気すもん」などで行ってきました。今年度は、「大浦開山堂」、広神地域「専明寺」でも行う予定です。

運営費は、赤い羽根共同募金や民間の補助金、市内の多くの方からのご寄附や食材の提供などを活用しながら賄っています。

地域食堂のお知らせは、その地域で回覧をしてもらっています。参加者は、毎回30人以上の方から来ていただいています。

### お邪魔した、「伊米ヶ崎みんなの食堂」では

伊米ヶ崎コミュニティ協議会主催のマルシェと一緒に食堂で行っています。ボランティアの方々が10人で、冷やし中華とフルーツゼリーを提供していました。スタッフは10人くらいいないと対応が難しくなるので、できるだけ10人程度は協力してもらっています。

ボランティアの方からは、「大勢のスタッフがいるので気軽に参加できます」と感想をいただいています。親子連れや地域のお年寄りで50人以上が食べに来てくれました。料金は子ども100円、大人300円で、午前11時くらいから営業を行い完売したら終了です。来月は大浦で手打ちそばなど提供予定です。



### 課題は

地域食堂を通して、地域の居場所づくりや顔が分かる関係づくりなどができていければと思いますので、今後は、地域の茶の間事業と一緒にやりたいです。でも、お茶の間事業は、高齢者限定だと聞いていますので、運用の規定を見直していただければありがたいです。

今後も、多世代が一緒に遊んだり、過ごせたりする場をつくらしていきたいので、各地域のコミュニティ協議会と連携してやっていきたいと思っています。

### 取材しての感想

子どもから高齢者まで幅広い交流を生み出す活動拠点である地域食堂の現場を訪問し、地域の元気を支える女性が生き生きと活動する場面を観て感動しました。

市内には、ほかにも子ども食堂の活動をしているグループもあります。これらの取組が今後とも広がっていくことに期待し、応援していきたいと思っています。

# 総務文教委員会報告



5月22日・6月26日に委員会を開催した。

## 1 審査事件 請願第3号

「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1還元に係る意見書の採択を求める請願書」

※採択すべきものと決定。

議案第49号・51号・54号・66号

※原案可決するものと決定。

## 2 調査事件

① 魚沼市地域づくり振興公社の解散手続きについて

会計システムの支払いが必要となったことから、残余財産が減額になったと説明を受けた。

問 一年足らずでの解約はなぜか。

答 契約時は、解散が先のことで不透明であったため契約した。

② 旧広神庁舎1階文化財展示室の工事内容と今後の工程等について説明を受けた。

問 DX(デジタルトランスフォーメーション)化に対応する工事は含まれているのか。

答 ラウンジの中でWiFiが



第1回インターチェンジ名称検討協議会の様子

利用できるように考えている。常設展示室については、現在検討中である。

③ 入広瀬小学校閉校後の利活用等ワークショップの進捗状況について

50件のアンケートが寄せられ、この意見についても協議しながら話し合いを進めている。

④ 旧慣使用地における線下補償の取扱いについて

⑤ 公共施設料金(使用料)の見直しについて

指定管理者施設を含めた全ての公共施設の使用料を、物価高騰を反映した価格に改定するため、全ての施設条例を一齐に見直すもの。

⑥ 関越自動車道インターチェンジの名称変更に向けた取組状況について

第1回魚沼市インターチェンジ名称検討協議会開催内容の報告を受けた。

⑦ 地区・地域名を名称の一部にしている公共施設の名称変更について

旧町村名等を名称の一部に使用している公共施設の実態を把握し、名称変更について検討するもの。

⑧ 令和5年度魚沼市総合防災訓練の実施について

⑨ 部活動地域移行の状況について

学校教育課に地域クラブ活動総括コーディネーターが配置され、部活動検討委員会に代わり地域クラブの活動を推進する組織を立ち上げる等、説明があった。

⑩ 小出郷福祉センターの解体について

新たな緑地帯に桜の木を植樹する考えである。

⑪ 小型動力ポンプ付水槽車(タンク車)の進捗状況について

7月19日までは納車予定である。

⑫ 消防用施設の借地契約書の不備等(課税免除)の進捗状況について

地権者への対応は、現時点で残り7件である。

⑬ 魚沼ケーブルテレビ事業の今後について

⑭ 公設光ファイバケーブル及び関連施設(情報通信基盤施設)の民間移行について

⑮ 旧庁舎等の解体に係わる不用品の売払いの状況について

湯之谷基幹集落センター解体で発生した、不用品の公売会の実施報告。

③から⑮について、執行部から説明を受け、質疑を行った。

今後は事業の進捗に合わせ、継続調査することとした。

⑯ 第6期総務文教委員会調査結果について

市民の声を聞く会での検討事項とあわせ次期委員会へ引き継ぐこととした。

# 産業厚生委員会報告



4月12日・4月25日・5月10日・6月27日・7月4日に委員会を開催した。

## 1 審査事件

### ① 請願第4号

「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願書

請願者(参考人)から趣旨説明を求め、請願者に対し質疑を行った。

問 インボイス制度導入により、最も影響を受けるのは誰か。

答 これまで免税となっていた売上

高1千万円以下の個人事業主や、手間賃で生活している一人親方などである。

**問** 免税事業者がいることで、税の公平性、平等性についてはどうか。

**答** 消費税そのものが低所得者に重い税制度であり、平等ではない。

※討論・採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

② 発議第4号  
適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期及び見直しを求める意見書の提出について

※提出者に対し説明を求め、質疑を行った。採決の結果、賛成多数で原案採択すべきものと決定した。

③ 議案審査  
議案第52号・55号・63号

※いずれも全会一致または、賛成多数で原案どおり採択すべきものと決定した。

## 2 調査事件

（4月12日開催分）

① 条例改正、補正予算の専決処分について

② 市税の滞納整理等について

③ 後期高齢者医療の高額療養費の一部支給漏れについて

④ 路線バスの路線休止について

⑤ 地域密着型特別養護老人ホーム

ひめさゆりについて

⑥ 堀之内地区の旧堀之内病院療養

病棟の特養への転換について

⑦ 堀之内地区にある魚沼市社会福祉協議会所有建物を魚沼市に無償譲渡することについて

⑧ 電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金について

①から⑧について、執行部から説明及び報告を受け、質疑を行った。

今後は事業の進捗に合わせ、継続調査することとした。

⑨ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

魚沼市における次期計画の参考とするため、上越市へ行政視察を行うこととし、両市の違いについて事前研修を行った。

（4月25日開催分）

① 現地調査

魚沼市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の参考とするため上越市に出向き、地域包括支援センター等について説明を受け、調査を行った。

（5月10日開催分）

① 行政視察の総括について

上越市で行った現地調査について、委員から意見を求め総括を行った。

② 燃料費の高騰等に伴う指定管理者への補助について

③ 寿和温泉の利用料金について（ファミリー券の廃止について）

④ 上野原7号線他道路改良について

⑤ 新ごみ処理施設整備について

⑥ 路線バスの路線休止に係るその後の経過について

⑦ 市立小出病院開院100周年及び市立病院10周年について

⑧ 新潟県で開催される全国自治体病院学会について

②から⑧について、執行部から説明及び報告を受け、質疑を行った。

今後は事業の進捗に合わせ、継続調査することとした。

⑨ 第6期産業厚生委員会の課題について

これまで委員会で調査・審議した内容を確認し、次期委員会に引き継ぐ事項を整理した。

（6月27日開催分）

① 路線バスの路線休止に係るその後の経過について

南越後観光バスから出されていた路線休止の届け出は取り下げられた。

② 新ごみ処理施設整備について

③ 堀之内地域医療・介護・福祉拠点化整備の進捗状況について

④ 魚沼市立地適正化計画の改定について

⑤ 有機センター発酵槽棟臭気除去装置設置の効果等の測定結果について

⑥ 小出まちなかエリアにぎわい創出ワークショップ等の実施について

⑦ 株式会社ユピオの解散について

⑧ 市内スキー場の存続方針に向けた経過等の報告について

⑨ 薬師スキー場ペアリフト建設工事の進捗状況について

①から⑨について、執行部から説明及び報告を受け、質疑を行った。

今後は事業の進捗に合わせ、継続調査することとした。

⑩ 第6期産業厚生委員会の課題及び市民の声を聞く会での意見要望事項の取扱いについて

各項目の取り扱いを決定し、議長に報告することとした。

①から⑨について、執行部から説明及び報告を受け、質疑を行った。

今後は事業の進捗に合わせ、継続調査することとした。

⑩ 第6期産業厚生委員会の課題及び市民の声を聞く会での意見要望事項の取扱いについて

各項目の取り扱いを決定し、議長に報告することとした。



行政視察の様子(上越市)

令和4年度

# 魚沼市議会政務活動費の使途内訳

政務活動費とは、魚沼市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市から交付されるものです。

令和4年度の政務活動費について、実績報告に基づき使途の内訳を掲載します。

## 第6期議員（令和4年4月～令和5年3月）

（単位：円）

議員氏名 または 会派名	交付額	支 出 額											対象経費	収支 差引額 (返還額)
		調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所費	支出計		
桑原 郁夫	96,000		71,326						51,975			123,301	123,301	
横山 正樹	96,000	1,181		59,455					18,234			78,870	78,870	17,130
星 直樹	96,000		74,350						27,040			101,390	101,390	
浅井 宏昭	96,000	4,213		189,509								193,722	193,722	
星野みゆき	96,000	4,213		91,243					48,000			143,456	143,456	
大桃 俊彦	96,000	5,394		40,480					59,450			105,324	105,324	
富永三千敏	96,000		61,825						56,104			117,929	117,929	
志田 貢	96,000					24,736		6,050	71,810			102,596	102,596	
佐藤 敏雄	96,000	8,811		51,770		24,736			62,130			147,447	147,447	
遠藤 徳一	96,000		1,181	136,600					39,882			177,663	177,663	
渡辺 一美	96,000		143,042					6,050	37,879			186,971	186,971	
佐藤 肇	96,000	25,391	55,530						50,124			131,045	131,045	
高野甲子雄	96,000	24,091							25,476			49,567	49,567	46,433
森島 守人	96,000	9,004		45,000		24,736			20,484			99,224	99,224	
本田 篤	96,000	9,004				24,736			43,656			77,396	77,396	18,604
関矢 孝夫	96,000		60,955	67,260		19,316		6,050	33,804			187,385	187,385	
日本共産党(所属2人)	192,000			313,648								313,648	313,648	
計	1,728,000	91,302	468,209	994,965		118,260		18,150	646,048			2,336,934	2,336,934	82,167

## 使 途 基 準

項 目	内 容
調査研究費	会派又は議員が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費（交通費、宿泊料等）
研 修 費	会派又は議員が研修を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費（講師謝金、研修等参加費、交通費等）
広 報 費	会派又は議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費（広報紙・報告書等印刷費、文書通信費、会場費等）
広 聴 費	会派又は議員が行う住民からの市政及び会派又は議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費（資料印刷費、会場費等）
要請・陳情活動費	会派又は議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費（資料印刷費、文書通信費、交通費等）
会 議 費	会派又は議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費（会場費、資料印刷費、参加費等）
資料作成費	会派又は議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費（印刷製本代、リース代等）
資料購入費	会派又は議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料等）
人 件 費	会派又は議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費（賃金等）
事 務 所 費	会派又は議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に関する経費（事務所の賃貸料、維持管理費等）

# みなさんからの声を大切に 令和5年度 第1回議会報告会 ～市民の声を聞く会～

魚沼市議会では、開かれた議会を目指し、「市民の声を聞く会」（議会報告会）を4月27日に市役所本庁舎で開催しました。

2月定例会と令和5年度予算審査について報告をした後、4グループに分かれた意見交換会を行い、参加者の皆さまから多くのご意見をお寄せいただきました。

いただいた貴重な意見は、今後、各担当委員会で協議し、今後の市政運営に反映していくよう取り組んでまいります。

いただいた意見の一部を掲載します。



## Aグループ

経済(商・工・農業・観光)

- ・ 少子高齢化について
- ・ インターチェンジ  
名称変更について



## Bグループ

医療・福祉

- ・ 路線バスの減便について
- ・ プールについて



## Cグループ

教育・子育て

- ・ オーガニック給食の  
必要性について
- ・ 部活動の地域移行について



## Dグループ

まちづくり・地域づくり

- ・ 夏山冬里の考えについて
- ・ 生涯学習センターに  
ついて



たくさんのご意見をありがとうございました。

## 希望の春

### 魚沼市へ想いを寄せて

古新田 滝沢澄江さん

魚沼市は、風光明媚で水は清く、お米はブランド米コシヒカリです。雪が降っても除雪対策がしっかりしていて心配ありません。こんな魚沼市に日々、感謝の思いで暮らしています。しかし、最近、何となく町全体が活気に欠けているような思いをふと抱きます。魚野川の土手を散歩しながら、響きの森公園を散歩しながら、ほとんど人と会わないのです。こんなに美しい風景があるのに、もったいない。コシヒカリマラソンとか、国際雪合戦とかのほかに、サイクリングロードを利用した楽しいイベントを企画する。写真だけでなく、絵のベストスポットを紹介し、コンクールを開くなどして、美しい魚沼を利用し、外から人を呼び込めないものでしょうか。



## 「市民の声」の原稿を募集します

● 字数3000字程度  
● 住所・氏名(匿名での掲載はできません)  
送り先 魚沼市議会事務局  
〒946-8601  
魚沼市小出島910番地

## これからの

### セカンドライフに思うこと



長松 瀬下公一さん

今年の3月で、48年間勤めた会社を退職し、3カ月が経過した。退職前は、集落区長を始め幾つかの要職を経験した。いろんな方々の御協力により、大過なく過ごすことができ、一安心している。7月任期満了の農地利用最適化推進委員の退任をもって、自由の身となる。

今、振り返ると、区長時代、長年の要望であった市道の道路改良舗装工事、一級河川小黒川の土砂撤去、堤防の簡易舗装工事に着手の道筋ができたことに感謝している。御理解をいただいた担当者や議員の皆さんに感謝したい。最近、二つの講習を受け終了した。これからは、講習を生かすべく皆さんに喜んでもらえるよう過ごしたい。

## 広報広聴特別委員会

今号(No.82)から、新しいメンバーで編集します。議会の情報をわかりやすく、発信してまいります。市民の声も募集しております。委員へお声掛けください。



## 議会を傍聴してみませんか



市議会議場は魚沼市役所本庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。学校・各種団体の場合は事前にご連絡ください。定例会は年4回(2月、6月、9月、12月)開かれます。このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

## あとがき

今年も魚沼オーブンフアクトリーが、7月25日から8月19日まで42社の企業・事業所見学が予定されています。魚沼の小・中の子どもたちと保護者、高校生、専門学生、大学生、そして求職者の皆様から、魚沼市には素晴らしい企業・事業所がいっぱいあるんだということを知っていただくことを目的として開催されます。昨年の参加者からは、見学して期待以上の衝撃と感動を受けビックリなどの声を多く聞きました。

子どもたちの将来への夢は、様々あると思いますが、ちよつと立ち止まって、この夏休みに見学に訪れ今後役に立てられるものがないかと思えます。ぜひこの機会に、驚きと感動をいっぱい感じて今後に生かしてもらえたらと思います。

(大桃俊彦)